

の作成等を義務付けるため、条例の一部を改正するものである。

○行田市斎場式場棟新築工事請負契約の変更について

(原案可決)

国による本年2月の労務単価等の改正にあわせ、一定の既契約について賃金等の急激な変動により、請負代金額が著しく不相当となった場合、発注者または受注者が請負代金額の変更を請求することができる行田市建設工事請負契約約款第25条第6項の規定に基づき、請負代金額の変更の請求がなされたため、契約の変更を行うものである。

質疑 人件費、材料費の高騰はどのように判断したのか。

答 当初の設計額は平成25年11月に改正された埼玉県建築工事積算標準単価表による積算であったが、平成26年4月に発行された同積算標準単価表により、各項目の単価を入れかえて算定した結果、差額が生じたため、人件費、材料費の高騰があると判断した。

なお、平成25年度当初の労務単価と比べると、全国平均

で7・1%の上昇、本工事では、当初設計に比べ、鉄筋工事で約17%、型枠工事で約20%の上昇となっている。

補正予算 補正総額
2億1649万円余り

○平成26年度行田市一般会計補正予算(原案可決)

歳出の主なものとして、国の社会保障・税番号制度導入に伴うシステム改修費。

本年2月の大雪により甚大な被害を受けた自治会集会所の建て替え費用の一部を助成するための措置。また、同じく被害を受けた農業用施設及び農作物に対して支援を行うための所要額をそれぞれ計上するものである。

これらを賄う財源は、国・県支出金及び前年度繰越金により措置するものである。

なお、市内全小・中学校の特別教室へのエアコン設置事業に関し、国庫支出金が活用できなくなったことから、市債と一般財源に財源を振り替えるものである。

議会人事

議長に野口啓造議員

副議長は小林友明議員

本定例会最終日の6月26日

に、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、議長に野口啓造議員(黎明21・3期目)、副議長には小林友明議員(新政策研究会・2期目)が選出されました。

また、同日に各常任委員会正副委員長の辞任に伴う互選が行われ、新しい正副委員長

が次のとおり決まりました。

○総務文教常任委員会

委員長 新井 孝義
副委員長 柿沼 貴志

○建設環境常任委員会

委員長 大河原梅夫
副委員長 梁瀬 里司

○健康福祉常任委員会

委員長 松本 安夫
副委員長 秋山 佳子

監査委員に香川宏行議員

監査委員の選任に関する議案が市長から提出され、議会選出の監査委員として、香川宏行議員(新政策研究会・3期目)の選任に同意しました。

農業委員会委員に4名推薦

市長からの推薦依頼に対し、次の4名を議会推薦委員として推薦しました。

工藤 正司・島田 洋子
平社 輝男・吉田 幸一

議長

野口 啓造



副議長

小林 友明



就任のあいさつ

このたび、議員各位のご推挙を得まして、議長・副議長の要職に就任いたしました。誠に身に余る光栄でありますとともに、その職責の重さに身を引き締めるところでございます。

現在、社会経済情勢の変化や地方分権の進展とともに市民の要請も多様化し、二元代表制の一翼を担う市議会の果たす役割もいっそう大きくなってきております。

市議会といたしましても、このような状況をしっかりと認識し、市民の目線に立った地域社会の健全な発展、市民福祉の向上並びに議会の公正かつ円滑な運営に誠心誠意取り組んで参る所存でございます。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。